

九・二八闘争を経て、更に人民、同志友人のみなさんから批判や疑問、支持などの意見を述べています。私たちもそれを始め、中から一步成長していくので確信してます。

週刊新聞の跨田の手記を読みました。「眞美は「つらがな」」と大罵戦を切るといひながら、諷刺もある批判もなしと体質的もがくとも感心しないんだが、これまで脱党とか離党とか田井を出てきた只中央委員とかの肩書きを持つた大物と呼ばれる人達の正直さがたて田井体質のいやしさがある。その体質とが、自分は常に正しく、批判されねがきらである。批判あるものに対して、相手が何をやおひこじるのか認識して

新たに年を迎える日本人民、同志友人のみなさんは決意も新たに団結を求める。日本赤軍金子よりの心からあいさりを送ります。

昨年、一九七七年は、私達日本赤軍にとって、五・三〇声明の提起、九・二八同志義理抗機制抗争によって、団結を求める闘いを開始した年でした。そして、私たちは日本人民、同

志友人のみなさんと正面からの出会い始めることができたのだと実感しています。そうした闘いが、日本人民、同志友人のみなさんがより思想的團結に向かう契機をつくり始めたと確信してます。

九・二八闘争を経て、更に人民、同志友人のみなさんから批判や疑問、支持などの意見を述べています。私たちもそれを始め、中から一步成長していくので確信してます。

日本赤軍

七八年にあたつて

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民

新

聞

人

民